

消防車両の無償貸付・救助用資機材等での排水活動及び人命救助活動による人的被害の軽減

3か年緊急対策

5か年加速化対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

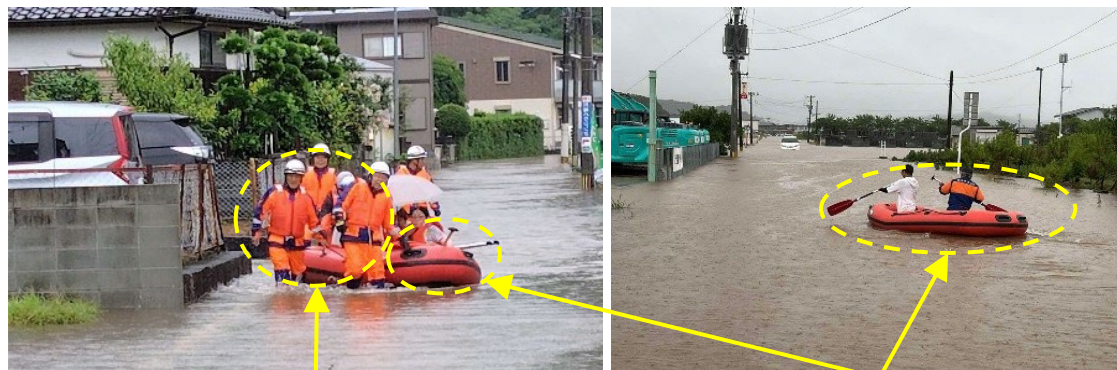
災害時の効果発揮事例

概要 要: 令和7年8月6日からの大雨により、熊本市内で床上浸水等の被害が発生した中、5か年加速化対策に位置づけられた無償貸付事業により配備した消防車両を活用した排水活動や、消防団設備整備費補助金を活用して整備した救助用資機材等を用いた人命救助活動の実施により、人的被害の軽減や浸水被害等の防止に貢献した。

対策名: 38 地域防災力の中核を担う消防団に関する対策<5か年加速化対策>【総務省】

- **実施主体**: 総務省消防庁、熊本市内の消防団
- **実施場所**: 熊本県熊本市(小島地区・松尾地区等)
- **事業概要**: 消防団の災害対応能力の向上のため、救助用資機材等を搭載した消防車両を無償で貸し付け、車両・資機材を活用した訓練を実施したほか、災害時における消防団のより効果的な救助活動等を図るため、消防団設備整備費補助金を通じて、消防団への救助用資機材等の整備を促進している。
- **事業費**: 約22.7億円(令和6年度)※全国の事業費(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約22.7億円)
- **災害の外力、被害と効果**: 令和7年8月6日からの大雨により、熊本市内では、1時間雨量110mmを超える豪雨により河川が増水し、各地で越水による床上浸水等の被害が発生したが、無償貸付事業を活用して配備した救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車を用いて排水活動を実施することができた。また、消防団設備整備費補助金を活用して整備した高視認性雨衣やボートを活用し、人命救助等を実施するなど、各地の消防団の活動において人的被害の軽減に貢献した。

8月6日からの大雨に伴う人命救助活動の様子
(熊本県熊本市提供)



高視認性雨衣

ボート

※上記のほか、貸し付けた消防ポンプ自動車による排水活動も行った。

【救助用資機材搭載型
消防ポンプ自動車】



【補助対象資機材等(例)】



※ 切創防止用保護衣等とは、切創防止用保護衣及び耐切創性手袋をいう。